

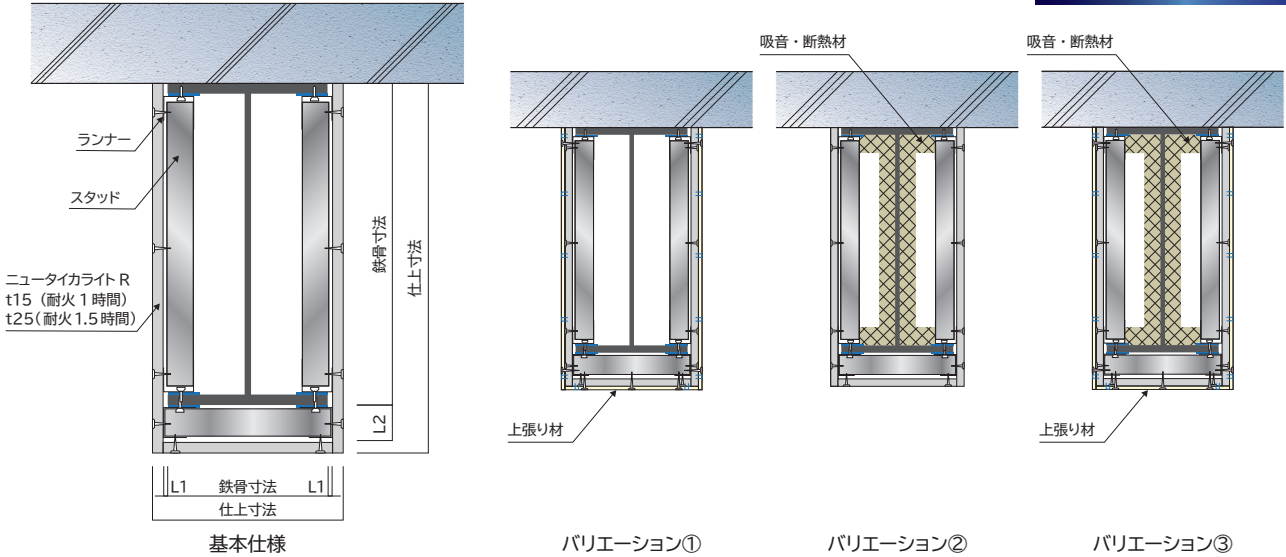
Fireproof for beam

軽鉄下地工法
はり

梁：標準納まりと主な認定条件

納まり例：独立梁・小梁

下図に軽鉄下地工法の納まり例（代表例）を記載します。詳細につきましては、認定書をご参照願います。



主な認定条件：独立梁

耐火時間	1 時間	1.5 時間 (90 分)
被覆材厚さ	15mm 以上 (1 号品, 2 号品共)	25mm 以上 (1 号品, 2 号品共)
離隔距離	L1 : 50mm 以下	L2 : 100mm 以下
鉄骨はり	H - 400 × 200 × 8 × 13mm 以上	H - 350 × 175 × 7 × 11mm 以上
ランナー	① □ -40 × 22 × 30 × 0.5mm 以上 ③ □ -40 × 20 × 0.45mm 以上	② □ -19 × 25 × 0.5mm 以上 ④ L -30 × 30 × 0.5mm 以上
スタッド	①～③ : ランナーと同じ ④ L -30 × 30 × 0.4mm 以上	⑤ 平鋼 -40 × 0.4mm 以上
上張り材 (あり又はなし)	せっこうボード (JIS A 6901) 厚さ 9.5mm 以上	
吸音・断熱材 (あり又はなし)	グラスウール及びロックウール	
認定番号	上張り材 吸音・断熱材	認定番号
	なし なし	FP060BM-0703(1)
	あり なし	FP060BM-0703(2)
	なし あり	FP060BM-0703(3)
	あり あり	FP060BM-0703(4)

認定取得準備中

主な認定条件：独立小梁

耐火時間	1 時間		
被覆材厚さ	20mm 以上 (1 号品, 2 号品共)		
離隔距離	L1 : 10mm 以下		L2 : 50mm 以下
鉄骨はり	H－200×100×5.5×8mm 以上		
ランナー	①□-40×22×30×0.5mm 以上		②□-19×25×0.5mm 以上
	③□-40×20×0.45mm 以上		④L-30×30×0.5mm 以上
スタッド	①～③：ランナーと同じ		
	④L-40×40×0.4mm 以上		⑤平鋼-40×0.4mm 以上
上張り材 (あり又はなし)	せっこうボード (JIS A 6901) 厚さ 9.5mm 以上		
吸音・断熱材 (あり又はなし)	グラスウール及びロックウール		
認定番号	上張り材	吸音・断熱材	認定番号
	なし	なし	FP060BM-0762(1)
	あり	なし	FP060BM-0762(2)
	なし	あり	FP060BM-0762(3)
	あり	あり	FP060BM-0762(4)

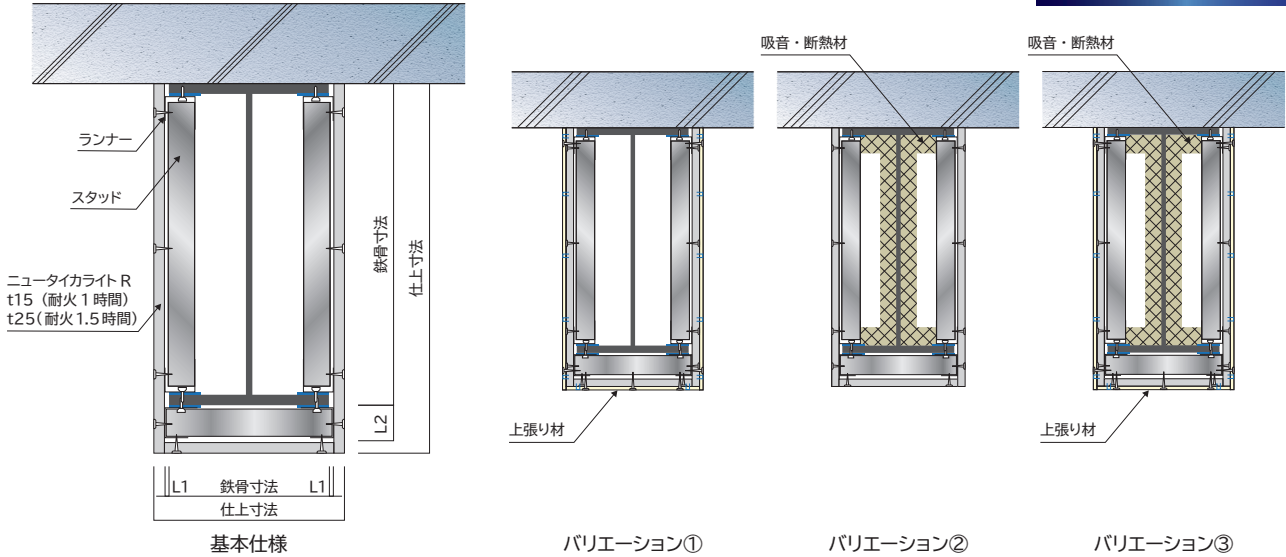
Fireproof for beam

軽鉄下地工法
はり

梁：標準納まりと主な認定条件

納まり例：独立梁・小梁

下図に軽鉄下地工法の納まり例（代表例）を記載します。詳細につきましては、認定書をご参照願います。



主な認定条件：独立梁

耐火時間	1 時間	1.5 時間 (90 分)
被覆材厚さ	15mm 以上 (1 号品, 2 号品共)	25mm 以上 (1 号品, 2 号品共)
離隔距離	L1 : 50mm 以下	L2 : 100mm 以下
鉄骨はり	H - 400 × 200 × 8 × 13mm 以上	H - 350 × 175 × 7 × 11mm 以上
ランナー	① □ -40 × 22 × 30 × 0.5mm 以上 ③ □ -40 × 20 × 0.45mm 以上	② □ -19 × 25 × 0.5mm 以上 ④ L -30 × 30 × 0.5mm 以上
スタッド	①～③ : ランナーと同じ ④ L -30 × 30 × 0.4mm 以上	⑤ 平鋼 -40 × 0.4mm 以上
上張り材 (あり又はなし)	せっこうボード (JIS A 6901) 厚さ 9.5mm 以上	
吸音・断熱材 (あり又はなし)	グラスウール及びロックウール	
認定番号	上張り材 吸音・断熱材	認定番号
	なし なし	FP060BM-0703(1)
	あり なし	FP060BM-0703(2)
	なし あり	FP060BM-0703(3)
	あり あり	FP060BM-0703(4)

認定番号
FP090BM-0843(1)
FP090BM-0843(2)
FP090BM-0843(3)
FP090BM-0843(4)

主な認定条件：独立小梁

耐火時間	1 時間		
被覆材厚さ	20mm 以上 (1 号品, 2 号品共)		
離隔距離	L1 : 10mm 以下		L2 : 50mm 以下
鉄骨はり	H－200×100×5.5×8mm 以上		
ランナー	①□-40×22×30×0.5mm 以上		②□-19×25×0.5mm 以上
	③□-40×20×0.45mm 以上		④L-30×30×0.5mm 以上
スタッド	①～③：ランナーと同じ		
	④L-40×40×0.4mm 以上		⑤平鋼-40×0.4mm 以上
上張り材（あり又はなし）	せっこうボード（JIS A 6901）厚さ 9.5mm 以上		
吸音・断熱材（あり又はなし）	グラスウール及びロックウール		
認定番号	上張り材	吸音・断熱材	認定番号
	なし	なし	FP060BM-0762(1)
	あり	なし	FP060BM-0762(2)
	なし	あり	FP060BM-0762(3)
	あり	あり	FP060BM-0762(4)

認定
はりの
耐火被覆

Certification

けい酸カルシウム耐火被覆板 はりの耐火被覆／認定番号一覧表

- ◆ 取り付け強度の向上、施工方法の改良、施工部材の追加・更新、納まり条件の更新等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定を優先した情報を掲載しております。記載内容は認定内容の一部をまとめたものですので、認定条件の詳細につきましては認定書をご確認願います。認定書をご希望の場合は当社ホームページより資料請求いただくか、建築事業部各所にお尋ねください。
- ◆ 被覆材厚は認定書に記載される最低材厚を示しています。 ◆本表は一般建築物向けのものです。プラント用ではありません。

耐火時間	被覆製品	TYPE	鋼材サイズの目安 [mm]			
			被覆材厚 [mm]	H-400×200 ↓	H-300×200 ↓	H-350×175 ↓
1	ニュータイカライトR	1号 2号	15*	H-350×175×7×11以上 L1=50以下, L2=100以下 【FP060BM-0582】		
			20	H-200×100×5.5×8以上 L1=15以下, L2=75以下 【FP060BM-0595】		
	タイカライト	1号 2号	20	鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP060BM-9393】		
			25	鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP060BM-9394】		
2	ニュータイカライトR	1号 2号	20	H-300×200×12×19以上 但し断面形状係数の制限あり【注2】 L1=2.5以下, L2=27以下 【FP120BM-0664】		
			30	H-400×200×8×13以上 L1=50以下, L2=100以下 【FP120BM-0524】		
	タイカライト	1号 2号	35	鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP120BM-9400】		
			40	鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP120BM-9401】		
3	ニュータイカライトR	2号のみ	40	H-400×200×8×13以上 L1=0, L2=15以上60以下 【FP180BM-0233-1】 鋼材種別に鋼材サイズの制限有 被覆板の取付方法に制限有 【注1】を参照ください		
	タイカライト	1号 2号	50 55	鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP180BM-9403】 鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP180BM-9404】		

耐火時間	被覆製品	TYPE	鋼材サイズの目安 [mm]			
			被覆材厚 [mm]	H-400×200 ↓	H-350×175 ↓	H-200×100 ↓
1	ニュータイカライトR	1号 2号	(30)	(下記の耐火2時間 【FP120BM-0588】(ECP縦張) 【FP120BM-0622】(ECP横張) をご利用いただけます)		
2	ニュータイカライトR	1号 2号	30	H-400×200×8×13以上 L1=50以下, L2=100以下, L3=250以下 【注4】ECP縦張: 【FP120BM-0588】 ECP厚60mm以上 【注4】ECP横張: 【FP120BM-0622】 ECP厚60mm以上		

耐火時間	被覆製品	TYPE	鋼材サイズの目安 [mm]			
			被覆材厚 [mm]	H-400×200 ↓	H-350×175 ↓	H-200×100 ↓
1	ニュータイカライトR	1号 2号	側板15* 底板20 【注3】	H-350×175×7×11以上 L1=50以下, L2=100以下, L3=300以下 【注4】壁パネル縦張:【FP060BM-0593】 壁パネル厚75mm以上 【注4】壁パネル横張:【FP060BM-0594】 壁パネル厚100mm以上		
			20	H-200×100×5.5×8以上 L1=15以下, L2=75以下, L3=250以下 【注4】壁パネル縦張:【FP060BM-0600】 壁パネル厚75mm以上		
	タイカライト	1号 2号	20	【注5】ALC厚75mm以上, L1, L2, L3の制限無 【FP060BM-9362】		
			25	【注5】ALC厚75mm以上, L1, L2, L3の制限無 【FP060BM-9364】		
2	ニュータイカライトR	1号 2号	30	H-400×200×8×13以上 L1=50以下, L2=100以下, L3=300以下 【注4】壁パネル縦張: 【FP120BM-0579】 壁パネル厚75mm以上 【注4】壁パネル横張: 【FP120BM-0580】 壁パネル厚100mm以上		
			35	【注5】ALC厚75mm以上, L1, L2, L3の制限無 【FP120BM-9363】		
	タイカライト	1号 2号	35	【注5】ALC厚75mm以上, L1, L2, L3の制限無 【FP120BM-9365】		
			40	【注5】ALC厚75mm以上, L1, L2, L3の制限無 【FP120BM-9365】		

※オフィスビル等の仕上げはりにおいては被覆材厚 20mm 以上を推奨します。

【注1】側面（ウェブと平行の面）の被覆板をフランジに接する方法で取り付けける工法となります。天井内隠蔽部（見え隠れ部）など、高い意匠性は必要ない部位向けの工法です。被覆対象の鋼材種により、適用可能な被覆鋼材サイズは H-400×200×8×13mm 以上の場合と H-400×200×9×17mm 以上或いは H-400×200×10×16mm 以上の場合があります。詳しくは当社営業担当者にお問い合わせ願います。

【注2】適用可能な被覆鋼材サイズは、H-300×200×12×19 以上かつ断面形状係数 0.07995mm¹ 以下となります。詳しくは当社営業担当者にお問い合わせ願います。

【注3】認定上の材厚は、はり側面部の被覆材（側板）・はり底面部の被覆材（底板）共に 15mm 以上ですが、合成耐火型として必要となる取り付け強度を確保するため、はり底面部の被覆材（底板）の材厚は仕上げ部・見え隠れ部双方で 20mm 以上が必要となります。

【注4】壁パネルが ALC 板・PC 板の場合について
パネル材の長手方向を垂直に配置する場合を縦張
パネル材の長手方向を水平に配置する場合を横張と呼びます。
鉄筋コンクリートが壁パネルの場合は、壁目地の有無や方向によって対応する認定が異なりますので、詳しくは当社営業担当者にお尋ねください。

【注5】タイカライト（1号、2号）は壁パネルを ALC としたときのみ使用できる認定です。

認定
はりの
耐火被覆

Certification

けい酸カルシウム耐火被覆板 はりの耐火被覆／認定番号一覧表

- ◆ 取り付け強度の向上、施工方法の改良、施工部材の追加・更新、納まり条件の更新等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定を優先した情報を掲載しております。記載内容は認定内容の一部をまとめたものですので、認定条件の詳細につきましては認定書をご確認願います。認定書をご希望の場合は当社ホームページより資料請求いただくか、建築事業部各所にお尋ねください。
- ◆ 被覆材厚は認定書に記載される最低材厚を示しています。 ◆本表は一般建築物向けのものです。プラント用ではありません。

耐火時間	被覆製品	TYPE	鋼材サイズの目安 [mm]			
			被覆材厚 [mm]	H-400×200 ↓	H-300×200 ↓	H-350×175 ↓
1	ニュータイカライトR	1号 2号	15*	H-350×175×7×11以上 L1=50以下, L2=100以下 【FP060BM-0582】		
			20	H-200×100×5.5×8以上 L1=15以下, L2=75以下 【FP060BM-0595】		
	タイカライト	1号 2号	20	鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP060BM-9393】		
			25	鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP060BM-9394】		
2	ニュータイカライトR	1号 2号	25	H-346×174×6×9以上 L1=5以下, L2=10以下 【FP090BM-0892】		
			20	H-300×200×12×19以上 但し断面形状係数の制限あり【注2】 L1=2.5以下, L2=27以下 【FP120BM-0664】		
	タイカライト	1号 2号	30	H-400×200×8×13以上 L1=50以下, L2=100以下 【FP120BM-0524】		
			40	H-200×100×5.5×8以上 L1=2.5以下, L2=5以下 【FP120BM-0601】		
3	ニュータイカライトR	1号 2号	35	鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP120BM-9400】		
			40	鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP120BM-9401】		
	タイカライト	1号 2号	40	H-400×200×8×13以上 L1=0, L2=15以上60以下 【FP180BM-0233-1】 鋼材種別に鋼材サイズの制限有 被覆板の取付方法に制限有 【注1】を参照ください		
			50 55	鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP180BM-9403】 鋼材サイズ制限無, L1, L2の制限無 【FP180BM-9404】		

耐火時間	被覆製品	TYPE	鋼材サイズの目安 [mm]			
			被覆材厚 [mm]	H-400×200 ↓	H-350×175 ↓	H-200×100 ↓
1	ニュータイカライトR	1号 2号	(30)	(下記の耐火2時間 【FP120BM-0588】(ECP縦張) 【FP120BM-0622】(ECP横張) をご利用いただけます)		
2	ニュータイカライトR	1号 2号	30	H-400×200×8×13以上 L1=50以下, L2=100以下, L3=250以下 【注4】ECP縦張: 【FP120BM-0588】 ECP厚60mm以上 【注4】ECP横張: 【FP120BM-0622】 ECP厚60mm以上		

耐火時間	被覆製品	TYPE	鋼材サイズの目安 [mm]			
			被覆材厚 [mm]	H-400×200 ↓	H-350×175 ↓	H-200×100 ↓
1	ニュータイカライトR	1号 2号	側板15* 底板20 【注3】	H-350×175×7×11以上 L1=50以下, L2=100以下, L3=300以下 【注4】壁パネル縦張:【FP060BM-0593】 壁パネル厚75mm以上 【注4】壁パネル横張:【FP060BM-0594】 壁パネル厚100mm以上		
			20	H-200×100×5.5×8以上 L1=15以下, L2=75以下, L3=250以下 【注4】壁パネル縦張:【FP060BM-0600】 壁パネル厚75mm以上		
	タイカライト	1号 2号	20	【注5】ALC厚75mm以上, L1, L2, L3の制限無 【FP060BM-9362】		
			25	【注5】ALC厚75mm以上, L1, L2, L3の制限無 【FP060BM-9364】		
2	ニュータイカライトR	1号 2号	30	H-400×200×8×13以上 L1=50以下, L2=100以下, L3=300以下 【注4】壁パネル縦張: 【FP120BM-0579】 壁パネル厚75mm以上 【注4】壁パネル横張: 【FP120BM-0580】 壁パネル厚100mm以上		
	タイカライト	1号 2号	35 40	【注5】ALC厚75mm以上, L1, L2, L3の制限無 【FP120BM-9363】 【注5】ALC厚75mm以上, L1, L2, L3の制限無 【FP120BM-9365】		

※オフィスビル等の仕上げはりにおいては被覆材厚 20mm 以上を推奨します。

【注1】側面（ウェブと平行の面）の被覆板をフランジに接する方法で取り付けける工法となります。天井内隠蔽部（見え隠れ部）など、高い意匠性は必要ない部位向けの工法です。被覆対象の鋼材種により、適用可能な被覆鋼材サイズは H-400×200×8×13mm 以上の場合と H-400×200×9×17mm 以上或いは H-400×200×10×16mm 以上の場合があります。詳しくは当社営業担当者にお問い合わせ願います。

【注2】適用可能な被覆鋼材サイズは、H-300×200×12×19 以上かつ断面形状係数 0.07995mm¹ 以下となります。詳しくは当社営業担当者にお問い合わせ願います。

【注3】認定上の材厚は、はり側面部の被覆材（側板）・はり底面部の被覆材（底板）共に 15mm 以上ですが、合成耐火型として必要となる取り付け強度を確保するため、はり底面部の被覆材（底板）の材厚は仕上げ部・見え隠れ部双方で 20mm 以上が必要となります。

【注4】壁パネルが ALC 板・PC 板の場合について
パネル材の長手方向を垂直に配置する場合を縦張
パネル材の長手方向を水平に配置する場合を横張と呼びます。
鉄筋コンクリートが壁パネルの場合は、壁目地の有無や方向によって対応する認定が異なりますので、詳しくは当社営業担当者にお尋ねください。

【注5】タイカライト（1号、2号）は壁パネルを ALC としたときのみ使用できる認定です。

Certification

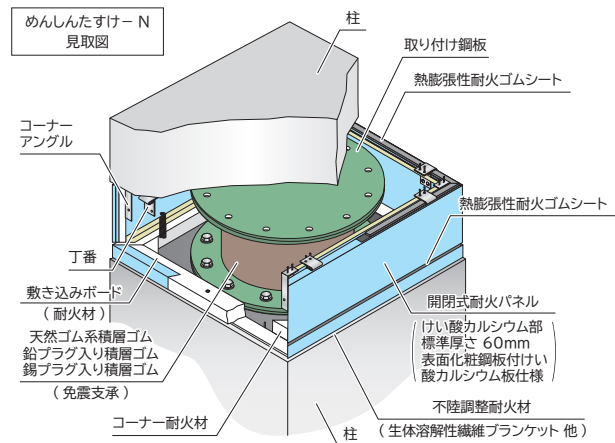
免震装置の耐火被覆 / 認定番号一覧表
(RC 柱・SRC 柱, 天然ゴム系積層ゴム免震装置)

- ◆被覆対象の免震装置の追加等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表中に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定の情報を掲載しております。
- ◆認定条件の詳細につきましては認定書をご確認ください。

認定
免震装置の
耐火被覆

1. 天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム / パネル開閉式 / めんしんたすけ-N 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面銅板張・ガラス繊維混入けい酸カルシウム板 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0198-1(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 28 年 12 月 2 日
SRC 柱 向け	表面銅板張・ガラス繊維混入けい酸カルシウム板 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0198-1(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 28 年 12 月 2 日



- ◆免震装置 2 基を並列して被覆することも可能です。

めんしんたすけ-N を適用可能な
天然ゴム系積層ゴム免震支承の大臣認定番号等一覧

MVBR-0030	MVBR-0235	MVBR-0319	MVBR-0447
MVBR-0046	MVBR-0237	MVBR-0320	MVBR-0449
MVBR-0047	MVBR-0240	MVBR-0323	MVBR-0451
MVBR-0058	MVBR-0245	MVBR-0342	MVBR-0453
MVBR-0094	MVBR-0247	MVBR-0355	MVBR-0454
MVBR-0121	MVBR-0251	MVBR-0380	MVBR-0455
MVBR-0126	MVBR-0260	MVBR-0401	MVBR-0467
MVBR-0129	MVBR-0265	MVBR-0405	MVBR-0483
MVBR-0166	MVBR-0275	MVBR-0406	MVBR-0504
MVBR-0171	MVBR-0277	MVBR-0414	MVBR-0508
MVBR-0185	MVBR-0295	MVBR-0421	MVBR-0509
MVBR-0196	MVBR-0300	MVBR-0422	MVBR-0517 ^{※1}
MVBR-0209	MVBR-0305	MVBR-0423	MVBR-0518
MVBR-0211	MVBR-0306	MVBR-0431	MVBR-0540
MVBR-0212	MVBR-0318	MVBR-0446	

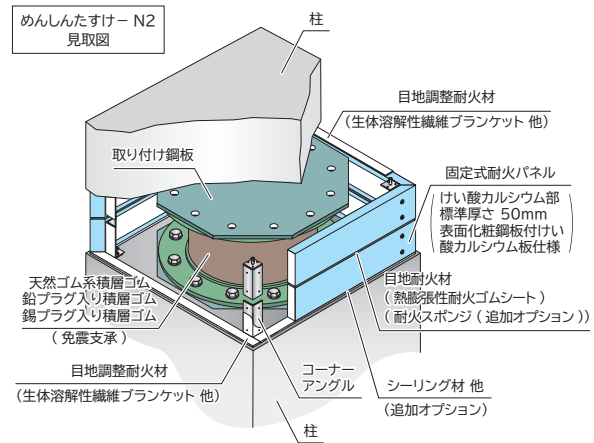
建設省東住指発第 764 号

※ 1 MVBR-0517 は支承径に対するプラグ 1 本の径の比が 0.25 を超えるものは除く。

注) 適用可能な免震装置の仕様等詳細につきましては、
認定書 FP180CN-0198-1(1),FP180CN-0198-1(2) の内容をご確認ください。

2. 天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム / パネル固定式 / めんしんたすけ-N 2 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面塗装鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0341-2(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 5 年 6 月 27 日
SRC 柱 向け	表面塗装鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0341-2(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 5 年 6 月 27 日



- ◆免震装置 2 基を並列または 3 基を一括して被覆することも可能です。

めんしんたすけ-N2 を適用可能な
天然ゴム系積層ゴム免震支承の大臣認定番号等一覧

MVBR-0046	MVBR-0265	MVBR-0406	MVBR-0517 ^{※2}
MVBR-0047	MVBR-0275	MVBR-0414	MVBR-0518
MVBR-0094	MVBR-0277	MVBR-0421	MVBR-0521
MVBR-0126	MVBR-0295	MVBR-0422	MVBR-0522
MVBR-0129	MVBR-0300	MVBR-0423	MVBR-0540
MVBR-0166	MVBR-0305	MVBR-0431	MVBR-0590
MVBR-0185	MVBR-0306	MVBR-0446	MVBR-0591
MVBR-0196	MVBR-0318	MVBR-0447	MVBR-0592
MVBR-0211	MVBR-0319	MVBR-0449	MVBR-0593
MVBR-0212	MVBR-0320	MVBR-0451	MVBR-0613
MVBR-0235	MVBR-0323	MVBR-0453	MVBR-0614
MVBR-0237	MVBR-0342	MVBR-0454	MVBR-0615
MVBR-0240	MVBR-0355	MVBR-0467	MVBR-0616
MVBR-0247	MVBR-0380	MVBR-0508	MVBR-0617
MVBR-0251	MVBR-0401	MVBR-0509	
MVBR-0260	MVBR-0405		

※ 2 MVBR-0517 は支承径に対するプラグ 1 本の径の比が 0.25 を超えるものは除く。

注) 適用可能な免震装置の仕様等詳細につきましては、
認定書 FP180CN-0341-2(1),FP180CN-0341-2(2) の内容をご確認ください。

Certification

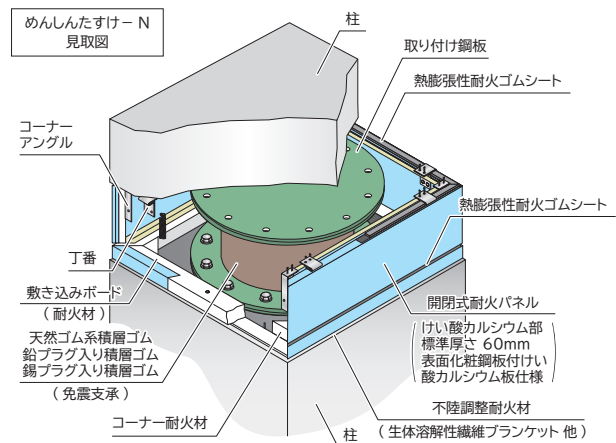
免震装置の耐火被覆 / 認定番号一覧表
(RC 柱・SRC 柱, 天然ゴム系積層ゴム免震装置)

- ◆被覆対象の免震装置の追加等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表中に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定の情報を掲載しております。
- ◆認定条件の詳細につきましては認定書をご確認ください。

認定
免震装置の
耐火被覆

1. 天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム / パネル開閉式 / めんしんたすけ-N 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面銅板張・ガラス繊維混入けい酸カルシウム板 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0198-1(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 28 年 12 月 2 日
SRC 柱 向け	表面銅板張・ガラス繊維混入けい酸カルシウム板 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0198-1(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 28 年 12 月 2 日



- ◆免震装置 2 基を並列して被覆することも可能です。

めんしんたすけ-N を適用可能な
天然ゴム系積層ゴム免震支承の大臣認定番号等一覧

MVBR-0030	MVBR-0235	MVBR-0319	MVBR-0447
MVBR-0046	MVBR-0237	MVBR-0320	MVBR-0449
MVBR-0047	MVBR-0240	MVBR-0323	MVBR-0451
MVBR-0058	MVBR-0245	MVBR-0342	MVBR-0453
MVBR-0094	MVBR-0247	MVBR-0355	MVBR-0454
MVBR-0121	MVBR-0251	MVBR-0380	MVBR-0455
MVBR-0126	MVBR-0260	MVBR-0401	MVBR-0467
MVBR-0129	MVBR-0265	MVBR-0405	MVBR-0483
MVBR-0166	MVBR-0275	MVBR-0406	MVBR-0504
MVBR-0171	MVBR-0277	MVBR-0414	MVBR-0508
MVBR-0185	MVBR-0295	MVBR-0421	MVBR-0509
MVBR-0196	MVBR-0300	MVBR-0422	MVBR-0517 ^{※1}
MVBR-0209	MVBR-0305	MVBR-0423	MVBR-0518
MVBR-0211	MVBR-0306	MVBR-0431	MVBR-0540
MVBR-0212	MVBR-0318	MVBR-0446	

建設省東住指発第 764 号

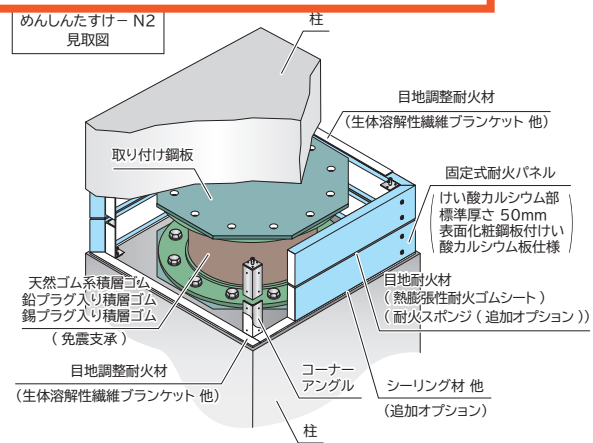
※ 1 MVBR-0517 は支承径に対するプラグ 1 本の径の比が 0.25 を超えるものは除く。

注) 適用可能な免震装置の仕様等詳細につきましては、
認定書 FP180CN-0198-1(1),FP180CN-0198-1(2) の内容をご確認ください。

2. 天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム / パネル固定式 / めんしんたすけ-N 2 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面塗装鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0341-2(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 5 年 6 月 27 日
SRC 柱 向け	表面塗装鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（天然ゴム系積層ゴム）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0341-2(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 5 年 6 月 27 日

- ◆めんしんたすけ-N2,HD,S 大臣認定更新情報
令和 7 年 4 月 23 日付で適用可能な免震装置を拡大し、大臣認定を更新しております。詳細は認定書をご確認ください。



- ◆免震装置 2 基を並列または 3 基を一括して被覆することも可能です。

めんしんたすけ-N2 を適用可能な
天然ゴム系積層ゴム免震支承の大臣認定番号等一覧

MVBR-0046	MVBR-0265	MVBR-0406	MVBR-0517 ^{※2}
MVBR-0047	MVBR-0275	MVBR-0414	MVBR-0518
MVBR-0094	MVBR-0277	MVBR-0421	MVBR-0521
MVBR-0126	MVBR-0295	MVBR-0422	MVBR-0522
MVBR-0129	MVBR-0300	MVBR-0423	MVBR-0540
MVBR-0166	MVBR-0305	MVBR-0431	MVBR-0590
MVBR-0185	MVBR-0306	MVBR-0446	MVBR-0591
MVBR-0196	MVBR-0318	MVBR-0447	MVBR-0592
MVBR-0211	MVBR-0319	MVBR-0449	MVBR-0593
MVBR-0212	MVBR-0320	MVBR-0451	MVBR-0613
MVBR-0235	MVBR-0323	MVBR-0453	MVBR-0614
MVBR-0237	MVBR-0342	MVBR-0454	MVBR-0615
MVBR-0240	MVBR-0355	MVBR-0467	MVBR-0616
MVBR-0247	MVBR-0380	MVBR-0508	MVBR-0617
MVBR-0251	MVBR-0401	MVBR-0509	
MVBR-0260	MVBR-0405		

※ 2 MVBR-0517 は支承径に対するプラグ 1 本の径の比が 0.25 を超えるものは除く。

注) 適用可能な免震装置の仕様等詳細につきましては、
認定書 FP180CN-0341-2(1),FP180CN-0341-2(2) の内容をご確認ください。

認定
免震装置の
耐火被覆

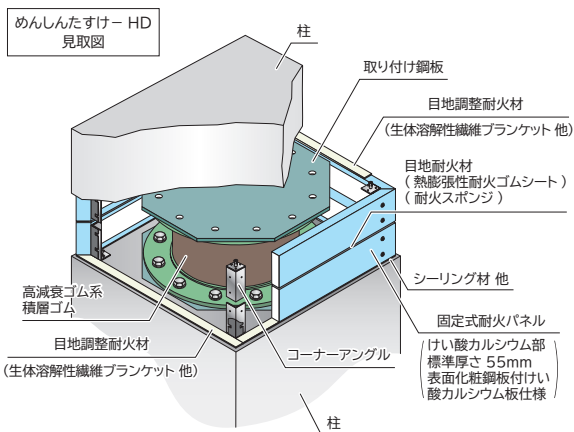
Certification

免震装置の耐火被覆 ／認定番号等一覧表
(RC 柱・SRC 柱, 高減衰ゴム系積層ゴム免震装置)

- ◆被覆対象の免震装置の追加等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表中に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定の情報を掲載しております。
- ◆認定条件の詳細につきましては認定書をご確認ください。

3. 高減衰ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム／パネル固定式／めんしんたすけ-HD 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面溶融垂鉛めっき鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（高減衰ゴム系積層ゴム）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0284-3(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 4 年 10 月 25 日
SRC 柱 向け	表面溶融垂鉛めっき鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（高減衰ゴム系積層ゴム）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0284-3(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 4 年 10 月 25 日



◆免震装置 2 基を並列して被覆することも可能です。

めんしんたすけ-HD を適用可能な
高減衰ゴム系積層ゴム免震支承の大臣認定番号等一覧

MVBR-0285	MVBR-0415	MVBR-0439	MVBR-0519
MVBR-0286	MVBR-0416	MVBR-0468	MVBR-0520
MVBR-0341	MVBR-0420	MVBR-0473	
MVBR-0398	MVBR-0430	MVBR-0510 ^{※4}	
MVBR-0404 ^{※3}	MVBR-0437	MVBR-0514	

※3 MVBR-0404 はゴム総厚 20cm のタイプの呼び径 600mm と 650mm を除く。
※4 MVBR-0510 は二次形状係数 (S2) が 5 かつゴム外径が 1100mm のものを除く。

注) 適用可能な免震装置の仕様等詳細につきましては、
認定書 FP180CN-0284-2(1),FP180CN-0284-2(2) の内容をご確認ください。

■ご案内 めんしんたすけシリーズの、新しい大臣認定の免震装置への対応につきまして

各免震装置メーカーより随時新しい大臣認定の免震装置（新商品・新仕様・新グレード等）がリリースされます。当社のめんしんたすけシリーズを新しい大臣認定の免震装置に対応させるためには、新しい耐火構造認定（更新認定を含む）を取得する必要がありますが、取得には相応の時間が必要となります。

新しい大臣認定の免震装置（本カタログに記載する、適用可能な免震装置の大臣認定番号以外の番号のもの）の採用と、これへの耐火被覆を検討される場合、早い段階で当社営業担当者にご相談いただけますようお願いいたします。

認定
免震装置の
耐火被覆

Certification

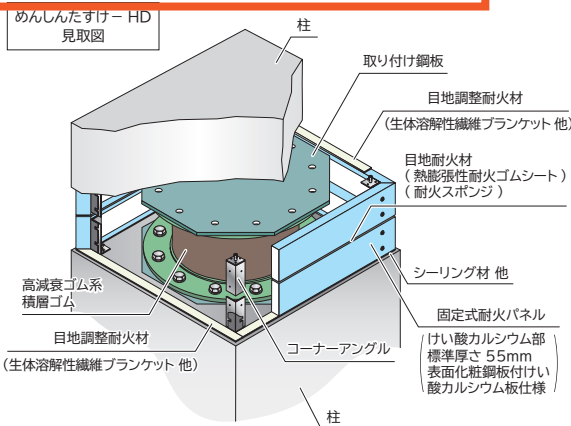
免震装置の耐火被覆 ／認定番号等一覧表
(RC 柱・SRC 柱, 高減衰ゴム系積層ゴム免震装置)

- ◆被覆対象の免震装置の追加等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表中に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定の情報を掲載しております。
- ◆認定条件の詳細につきましては認定書をご確認ください。

3. 高減衰ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム／パネル固定式／めんしんたすけ-HD 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面溶融垂鉛めっき鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（高減衰ゴム系積層ゴム）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0284-3(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 4 年 10 月 25 日
SRC 柱 向け	表面溶融垂鉛めっき鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（高減衰ゴム系積層ゴム）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0284-3(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 4 年 10 月 25 日

◆めんしんたすけ-N2,HD,S 大臣認定更新情報
令和 7 年 4 月 23 日付で適用可能な免震装置を拡大し、大臣認定を更新しております。詳細は認定書をご確認ください。



◆免震装置 2 基を並列して被覆することも可能です。

めんしんたすけ-HD を適用可能な
高減衰ゴム系積層ゴム免震支承の大臣認定番号等一覧

MVBR-0285	MVBR-0415	MVBR-0439	MVBR-0519
MVBR-0286	MVBR-0416	MVBR-0468	MVBR-0520
MVBR-0341	MVBR-0420	MVBR-0473	
MVBR-0398	MVBR-0430	MVBR-0510 ^{※4}	
MVBR-0404 ^{※3}	MVBR-0437	MVBR-0514	

※3 MVBR-0404 はゴム総厚 20cm のタイプの呼び径 600mm と 650mm を除く。
※4 MVBR-0510 は二次形状係数 (S2) が 5 かつゴム外径が 1100mm のものを除く。

注) 適用可能な免震装置の仕様等詳細につきましては、
認定書 FP180CN-0284-2(1),FP180CN-0284-2(2) の内容をご確認ください。

■ご案内 めんしんたすけシリーズの、新しい大臣認定の免震装置への対応につきまして

各免震装置メーカーより随時新しい大臣認定の免震装置（新商品・新仕様・新グレード等）がリリースされます。当社のめんしんたすけシリーズを新しい大臣認定の免震装置に対応させるためには、新しい耐火構造認定（更新認定を含む）を取得する必要がありますが、取得には相応の時間が必要となります。

新しい大臣認定の免震装置（本カタログに記載する、適用可能な免震装置の大臣認定番号以外の番号のもの）の採用と、これへの耐火被覆を検討される場合、早い段階で当社営業担当者にご相談いただけますようお願いいたします。

Certification

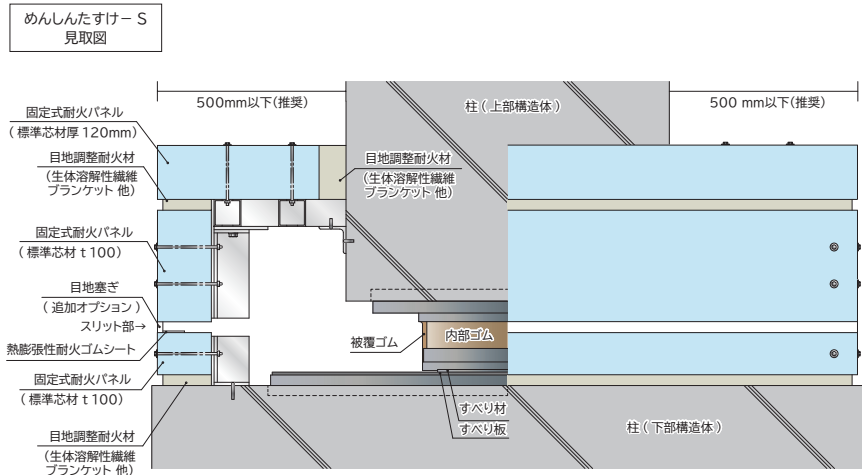
免震装置の耐火被覆／認定番号一覧表
(RC 柱・SRC 柱, すべり支承免震装置)

- ◆被覆対象の免震装置の追加等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表中に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定の情報を掲載しております。
- ◆認定条件の詳細につきましては認定書をご確認ください。

認定
免震装置の
耐火被覆

4. すべり支承免震装置耐火被覆システム／パネル固定式／めんしんたすけ-S 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面化粧塗装鋼板・繊維混入けい酸カルシウム板被覆 ／免震材料 (すべり支承)・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0956-1(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 5 年 6 月 27 日
SRC 柱 向け	表面化粧塗装鋼板・繊維混入けい酸カルシウム板被覆 ／免震材料 (すべり支承)・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0956-1(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 5 年 6 月 27 日
RC 柱・ SRC 柱 併用向け	表面化粧塗装鋼板・繊維混入けい酸カルシウム板被覆 ／免震材料 (すべり支承)・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0956-1(3)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 5 年 6 月 27 日



- ※ 1 MVBR-0412 は積層ゴム部の外径がΦ 1100 mm を越えるものは除く。
 - ※ 2 MVBR-0581 はすべり材厚さが 20 mm 以下のものに限定。
 - ※ 3 MVBR-0471 はバックプレートの最小寸法が 500mm 以上のものに限定。
 - ※ 4 MVBR-0580 はスライダ径がΦ 300mm 以下のものを除く。
 - ※ 5 MVBR-0606, MVBR-0607 はベースボット内径 (すべり材ホルダー相当部) が Φ 300mm 未満のものは除く。
- ◆ 免震装置 2 基を並列して被覆することも可能です。

注) 免震装置の詳細につきましては認定書 FP180CN-0956-1(1), FP180CN-0956-1(2) の内容をご確認ください。

めんしんたすけ-S を適用可能な
すべり支承免震装置の大臣認定番号一覧

弾性すべり支承免震装置

MVBR-0176	MVBR-0395	MVBR-0548
MVBR-0181	MVBR-0399	MVBR-0556
MVBR-0236	MVBR-0412 ^{※1}	MVBR-0563
MVBR-0264	MVBR-0433	MVBR-0567
MVBR-0346	MVBR-0434	MVBR-0568
MVBR-0349	MVBR-0435	MVBR-0569
MVBR-0358	MVBR-0463	MVBR-0581 ^{※2}
MVBR-0359	MVBR-0469	MVBR-0618
MVBR-0390	MVBR-0479	MVBR-0619
MVBR-0391	MVBR-0497	MVBR-0620
MVBR-0392	MVBR-0546	

剛すべり支承免震装置

MVBR-0242	MVBR-0441	MVBR-0601
MVBR-0248	MVBR-0442	MVBR-0602
MVBR-0293	MVBR-0471 ^{※3}	MVBR-0606 ^{※5}
MVBR-0368	MVBR-0580 ^{※4}	MVBR-0607 ^{※5}
MVBR-0375		
MVBR-0394		

Certification

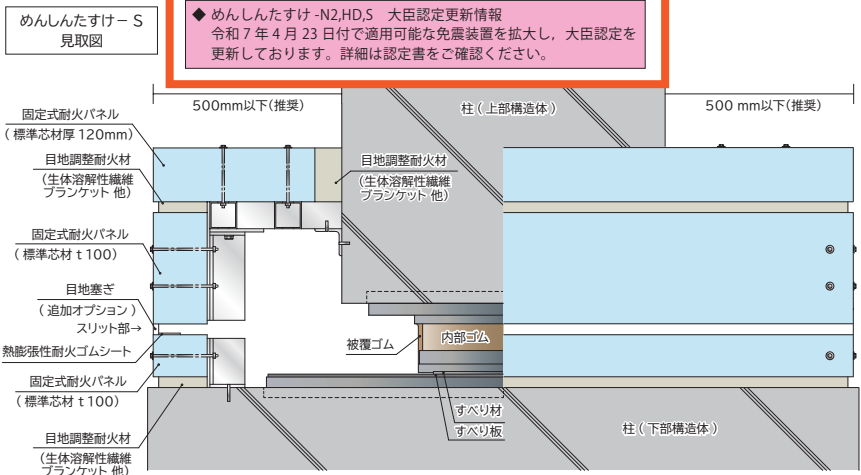
免震装置の耐火被覆／認定番号一覧表
(RC 柱・SRC 柱, すべり支承免震装置)

- ◆被覆対象の免震装置の追加等を目的とし、必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表中に記載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する、より新しい認定の情報を掲載しております。
- ◆認定条件の詳細につきましては認定書をご確認ください。

認定
免震装置の
耐火被覆

4. すべり支承免震装置耐火被覆システム／パネル固定式／めんしんたすけ-S 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面化粧塗装鋼板・繊維混入けい酸カルシウム板被覆 ／免震材料 (すべり支承)・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0956-1(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 5 年 6 月 27 日
SRC 柱 向け	表面化粧塗装鋼板・繊維混入けい酸カルシウム板被覆 ／免震材料 (すべり支承)・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0956-1(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 5 年 6 月 27 日
RC 柱・ SRC 柱 併用向け	表面化粧塗装鋼板・繊維混入けい酸カルシウム板被覆 ／免震材料 (すべり支承)・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0956-1(3)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 5 年 6 月 27 日



- ※ 1 MVBR-0412 は積層ゴム部の外径がΦ 1100 mm を越えるものは除く。
 - ※ 2 MVBR-0581 はすべり材厚さが 20 mm 以下のものに限定。
 - ※ 3 MVBR-0471 はバックプレートの最小寸法が 500mm 以上のものに限定。
 - ※ 4 MVBR-0580 はスライダ径がΦ 300mm 以下のものを除く。
 - ※ 5 MVBR-0606, MVBR-0607 はベースボット内径 (すべり材ホルダー相当部) が Φ 300mm 未満のものは除く。
- ◆ 免震装置 2 基を並列して被覆することも可能です。

めんしんたすけ-S を適用可能な
すべり支承免震装置の大臣認定番号一覧

弾性すべり支承免震装置

MVBR-0176	MVBR-0395	MVBR-0548
MVBR-0181	MVBR-0399	MVBR-0556
MVBR-0236	MVBR-0412 ^{※1}	MVBR-0563
MVBR-0264	MVBR-0433	MVBR-0567
MVBR-0346	MVBR-0434	MVBR-0568
MVBR-0349	MVBR-0435	MVBR-0569
MVBR-0358	MVBR-0463	MVBR-0581 ^{※2}
MVBR-0359	MVBR-0469	MVBR-0618
MVBR-0390	MVBR-0479	MVBR-0619
MVBR-0391	MVBR-0497	MVBR-0620
MVBR-0392	MVBR-0546	

剛すべり支承免震装置

MVBR-0242	MVBR-0441	MVBR-0601
MVBR-0248	MVBR-0442	MVBR-0602
MVBR-0293	MVBR-0471 ^{※3}	MVBR-0606 ^{※5}
MVBR-0368	MVBR-0580 ^{※4}	MVBR-0607 ^{※5}
MVBR-0375		
MVBR-0394		

注) 免震装置の詳細につきましては認定書 FP180CN-0956-1(1), FP180CN-0956-1(2) の内容をご確認ください。

認定 免震装置の 耐火被覆

Certification

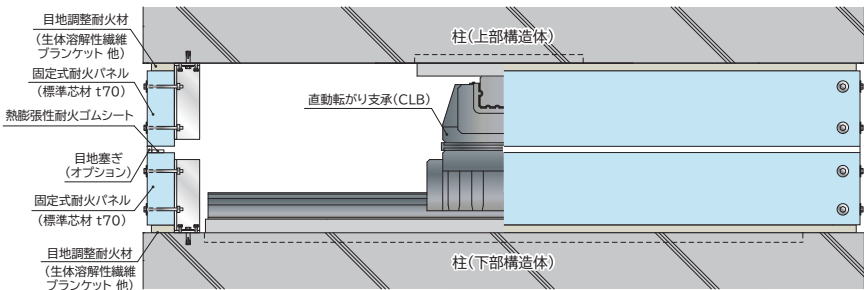
免震装置の耐火被覆 ／認定番号等一覧表 (RC 柱・SRC 柱，直動転がり支承免震装置，球面すべり支承免震装置)

◆ 仕様の詳細につきましては当社営業担当者にお尋ねください。
被覆対象の免震装置の追加等を目的とし，必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表中に掲載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する，より新しい認定の情報を掲載しております。

5. 転がり支承免震装置用耐火被覆システム / パネル固定式 / めんしんたすけ－CLB 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（直動転がり支承）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0796(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 31 年 3 月 5 日
SRC 柱 向け	表面鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（直動転がり支承）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0796(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 31 年 3 月 5 日

めんしんたすけ－CLB
見取図



めんしんたすけ－CLB を適用可能な
免震装置の大臣認定一覧

直動転がり支承免震装置※6			
MVBR-0198	MVBR-0270	MVBR-0372	
MVBR-0199	MVBR-0271	MVBR-0373	
MVBR-0200	MVBR-0272	MVBR-0374	
MVBR-0267	MVBR-0281	MVBR-0381	
MVBR-0268	MVBR-0282	MVBR-0382	
MVBR-0269	MVBR-0283	MVBR-0383	

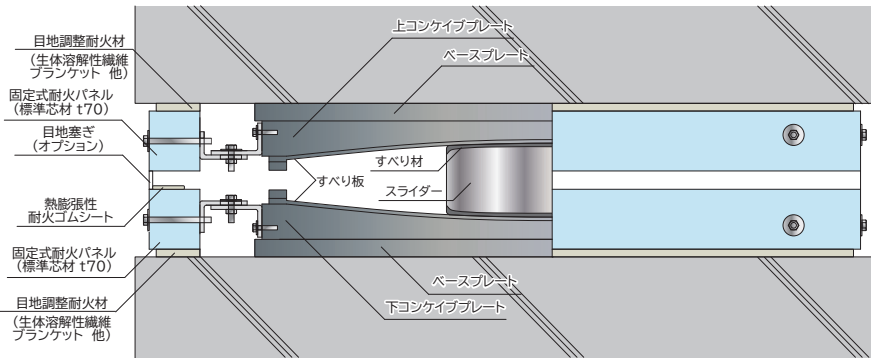
※ 6 リニアレールの長さが 1150mm 以上のもの，かつ基準
荷重が 2451kN 以上のものに限る。

注）免震装置の詳細につきましては認定書
FP180CN-0796(1)，FP180CN-0796(2)
の内容をご確認ください。

6. 球面すべり支承免震装置用耐火被覆システム / パネル固定式 / めんしんたすけ－SSB 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面鋼板付繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（球面すべり支承）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0823-2(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 6 年 5 月 21 日
SRC 柱 向け	表面鋼板付繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（球面すべり支承）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0823-2(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 6 年 5 月 21 日
RC 柱・SRC 柱 併用向け	表面鋼板付繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（球面すべり支承）・鉄筋コンクリート柱・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0823-2(3)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 6 年 5 月 21 日

めんしんたすけ－SSB
見取図



めんしんたすけ－SSB を適用可能な
免震装置の大臣認定一覧

日鉄エンジニアリング製球面すべり支承免震装置			
・MN タイプ 大臣認定番号			
MVBR-0586	MVBR-0588		
MVBR-0610	MVBR-0654		
・LN タイプ 大臣認定番号			
MVBR-0585	MVBR-0589		
MVBR-0609	MVBR-0653		

付帯条件
スライダー径：φ 150mm 以上
ベースプレートの厚さ：22mm 以上

注）免震装置の詳細につきましては，認定書
FP180CN-0823-2(1)，FP180CN-0823-2(2)，
FP180CN-0823-2(3) の内容をご確認ください。

◆ 免震装置 2 基を並列して被覆することも可能です。

認定 免震装置の 耐火被覆

Certification

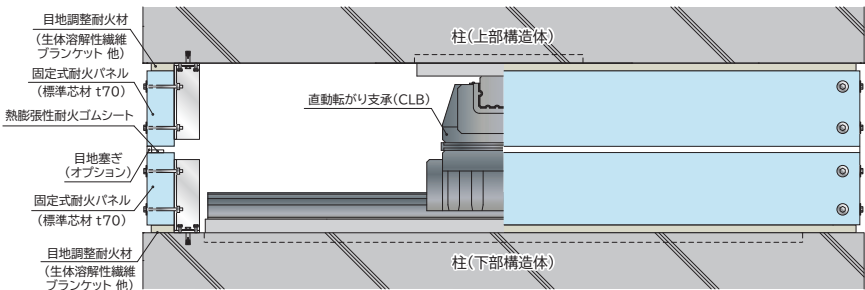
免震装置の耐火被覆 ／認定番号等一覧表 (RC 柱・SRC 柱，直動転がり支承免震装置，球面すべり支承免震装置)

◆ 仕様の詳細につきましては当社営業担当者にお尋ねください。
被覆対象の免震装置の追加等を目的とし，必要に応じて随時新しい認定を取得しております。下表中に掲載する認定は当社が本書発行時点で最も推奨する，より新しい認定の情報を掲載しております。

5. 転がり支承免震装置用耐火被覆システム / パネル固定式 / めんしんたすけ－CLB 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（直動転がり支承）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0796(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 31 年 3 月 5 日
SRC 柱 向け	表面鋼板付ガラス繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（直動転がり支承）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0796(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	平成 31 年 3 月 5 日

めんしんたすけ－CLB
見取図



めんしんたすけ－CLB を適用可能な
免震装置の大臣認定一覧

直動転がり支承免震装置※6			
MVBR-0198	MVBR-0270	MVBR-0372	
MVBR-0199	MVBR-0271	MVBR-0373	
MVBR-0200	MVBR-0272	MVBR-0374	
MVBR-0267	MVBR-0281	MVBR-0381	
MVBR-0268	MVBR-0282	MVBR-0382	
MVBR-0269	MVBR-0283	MVBR-0383	

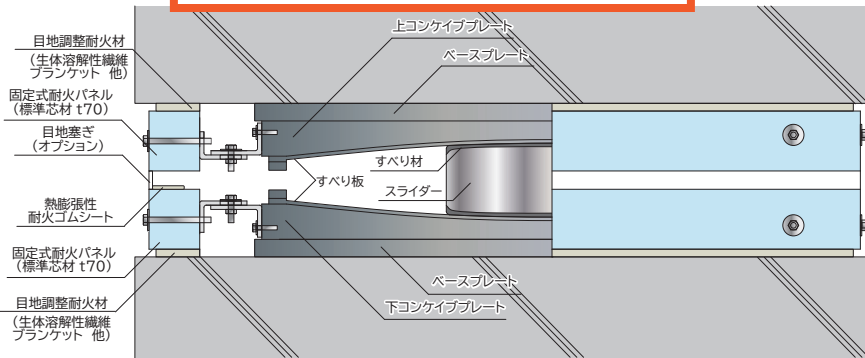
※ 6 リニアレールの長さが 1150mm 以上のもの，かつ基準
荷重が 2451kN 以上のものに限る。

注）免震装置の詳細につきましては認定書
FP180CN-0796(1)，FP180CN-0796(2)
の内容をご確認ください。

6. 球面すべり支承免震装置用耐火被覆システム / パネル固定式 / めんしんたすけ－SSB 耐火 3 時間

適用	認定の名称	認定番号	耐火パネル仕様	認定取得日
RC 柱 向け	表面鋼板付繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（球面すべり支承）・鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0823-2(1)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 6 年 5 月 21 日
SRC 柱 向け	表面鋼板付繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（球面すべり支承）・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0823-2(2)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 6 年 5 月 21 日
RC 柱・SRC 柱 併用向け	表面鋼板付繊維混入けい酸カルシウム板張 ／免震材料（球面すべり支承）・鉄筋コンクリート柱・鉄骨鉄筋コンクリート柱	FP180CN-0823-2(3)	表面化粧鋼板付 けい酸カルシウム板	令和 6 年 5 月 21 日

めんしんたすけ－SSB
見取図



めんしんたすけ－SSB を適用可能な
免震装置の大臣認定一覧

日鉄エンジニアリング製球面すべり支承免震装置			
・MN タイプ 大臣認定番号			
MVBR-0586	MVBR-0588		
MVBR-0610	MVBR-0654		
・LN タイプ 大臣認定番号			
MVBR-0585	MVBR-0589		
MVBR-0609	MVBR-0653		

付帯条件
スライダー径：φ 150mm 以上
ベースプレートの厚さ：22mm 以上

注）免震装置の詳細につきましては，認定書
FP180CN-0823-2(1)，FP180CN-0823-2(2)，
FP180CN-0823-2(3) の内容をご確認ください。

◆ 免震装置 2 基を並列して被覆することも可能です。

Certification

不燃認定

- ◆ 下記商品名は各種大臣認定書記載の名称とは異なります。
- ◆ 本表の仕様等は認定内容の一部をまとめたものです。認定条件等詳細につきましては認定書をご確認ください。

認定

その他

不燃認定

商品名	認定番号
タイカライト	NM-8578

※ 耐火被覆材ニュータイカライトR、タイカライトー CFT、円筒形成形耐火被覆材ニュータイカライトコラムR・タイカライトコラム・タイカライトコラムー CFT は、平成 12 年建設省告示第 1400 号により定められる告示指定の不燃材料です。

当社製けい酸カルシウム耐火被覆材を利用する工法向けの専用関連資材です

関連資材
接着剤・補修材

■接着剤「ボンデスト」

けい酸ソーダを主成分とする無機系ペースト状接着剤です。スパーサー等の固定等に使使します。
<荷姿> 25 kgの一斗缶

▶ ボンデストの保管に関する注意事項

本製品は 35℃以上で保管すると短期間で製品が硬くなる恐れがありますので、できるだけ直射日光の当たらない屋内の冷暗所で保管してください。35℃を超える恐れのある場合は 2 週間以内に使用してください。



ボンデスト

■補修材「スラリー」

同質の基材に合成のりを加えたペースト状材料で、目地部や欠損部などの充てん材として使用します。
使用する耐火被覆板の種類に応じたスラリーがあります。
社内試験により難燃 1 級（JIS A 1321 基材試験及び表面試験）の性能を有することを確認しています。
<荷姿> 15 kgの一斗缶
<補修工法>ヘラ、コテ



ニュータイカライト R スラリー



タイカライトスラリー

<参考>良好な付着性を確認している防錆塗装

JIS 規格	JIS 材料名
JIS K 5621	一般用さび止めペイント（2種）
JIS K 5674	鉛・クロムフリーさび止めペイント（1種・2種）
JIS K 5551	構造物用さび止めペイント（C 種）

■推奨シーラー材「ポリゾール AP1100」



ポリゾール AP1100

けい酸カルシウム耐火被覆板に塗装・クロスで仕上げをする場合の下地処理として使用します。



詳細はこちら

Certification

不燃認定

- ◆ 下記商品名は各種大臣認定書記載の名称とは異なります。
- ◆ 本表の仕様等は認定内容の一部をまとめたものです。認定条件等詳細につきましては認定書をご確認ください。

認定

その他

不燃認定

商品名	認定番号
タイカライト	NM-8578

※ 耐火被覆材ニュータイカライトR、タイカライトー CFT、円筒形成形耐火被覆材ニュータイカライトコラムR・タイカライトコラム・タイカライトコラムー CFT は、平成 12 年建設省告示第 1400 号により定められる告示指定の不燃材料です。

当社製けい酸カルシウム耐火被覆材を利用する工法向けの専用関連資材です

関連資材
接着剤・補修材

■接着剤「ボンデスト」

けい酸ソーダを主成分とする無機系ペースト状接着剤です。スパーサー等の固定等に使使します。
<荷姿> 25 kgの一斗缶

▶ ボンデストの保管に関する注意事項

本製品は 35℃以上で保管すると短期間で製品が硬くなる恐れがありますので、できるだけ直射日光の当たらない屋内の冷暗所で保管してください。35℃を超える恐れのある場合は 2 週間以内に使用してください。



ボンデスト



ニュータイカライト R スラリー



タイカライトスラリー

<参考>良好な付着性を確認している防錆塗装

JIS 規格	JIS 材料名
JIS K 5621	一般用さび止めペイント（2種）
JIS K 5674	鉛・クロムフリーさび止めペイント（1種・2種）
JIS K 5551	構造物用さび止めペイント（C 種）

■推奨シーラー材「エスケー強化シーラー」



エスケー強化シーラー

けい酸カルシウム耐火被覆板に塗装・クロスで仕上げをする場合の下地処理として使用します。



詳細はこちら